



ESPRESSO
MACHINE

INSTRUCTION MANUAL

Y3

IPERESPRESSO



■ ご使用の前に

ご使用前にこの取扱い説明書を最後までお読みください。

■ 重要事項

本体や取外し可能な部品を絶対に水に浸けたり食器洗浄機には入れないでください。

水タンクの水は定期的に取り換えてください。

水タンクが空の状態、マシンを絶対に使用しないでください。

2ヵ月に1度は、市販のコーヒーマシン専用のスケール除去剤を使って、スケール除去を行う事をお勧めします。(方法についてはスケール除去の章をご参照ください。)

本体は、一定の圧力を維持するバルブを装備しています。

そのため、抽出ユニットから少量の水がポタポタと落ちることもあります。

注記：

水の中に含まれている成分（ミネラル分等）が、製品をご使用されている間に自然に製品内部の管に付着していきます。（付着物を「スケール」又は水あかと呼びます。）

放置していると製品の故障の原因になりますので、スケール除去剤をご使用になり、スケール除去を行うことをお勧めします。

スケール除去剤は「カルキ除去剤」という名称でも販売されています。

目 次

■ 安全上のご注意	2
■ 各部のなまえ	4
■ はじめてのご使用	5
給水	
始動とウォーミングアップ	
節電モード	
■ コーヒーの抽出	6
■ コーヒー抽出量の設定	7
■ マシン内部の洗浄（空おとし）	8
■ 使用済カプセルの捨て方およびカプセルコンテナ清掃	9
■ 保管	9
■ スケール除去	10
■ 仕様／推奨／保証の制限	11
■ 故障かな？『トラブルシューティング』	12

安全上のご注意 各注意事項を、必ずお守りください。

- ★ ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ★ ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
- ★ 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の3つに分け、明示しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- ★ 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

- ：禁止
- ：接触禁止
- ：水ぬれ禁止
- ：分解禁止
- ：ぬれ手禁止

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- ：指示を守る
- ：電源プラグを抜く

危険

- 自分で絶対に分解・修理・改造は行わない
感電・火災の原因になったり、異常作動してケガをすることがあります。

警告

電源/コンセントについて

- 電源は交流100V (50/60Hz) で「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。
- 延長コードやテーパータップ、ソケットなどは絶対に使わない
コンセントや電源プラグ/電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。
- 取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない
取り付けの悪い（ガツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。

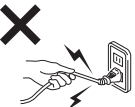
電源プラグ/電源コードについて

- 電源プラグ/電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
使用中に、電源プラグ/電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り、お求めの販売店またはキーコーヒー側お客様センターに、ご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。
- 動作中に電源プラグを抜き差ししない
感電・火災の原因になります。
- 電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。
- めれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電する恐れがあります。
- 電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。
- 変形・破損している電源プラグ/電源コードは絶対に使わない
感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店またはキーコーヒー側お客様センターに、交換を依頼してください。
- 電源プラグ/電源コードを破損するようなことはしない
電源プラグ/電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

警告

使用中／使用后について	
❌ お子様だけでは使わない。幼児の手の届くところで使わない ヤケド・感電・ケガの原因になります。 ❗ コーヒー抽出口や給湯ノズルから出てくるお湯やスチーム（蒸気）に注意する 高温のため、ヤケドの原因になります。	❗ 使用中は給水タンク内の水量をチェックする 極端に水が少ない状態が続くと異常発熱し、発火する恐れがあります。
使用中	
❗ 異常が生じた場合は、使用を中止する 万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターまでご連絡ください。	
お手入れについて	
❗ 本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷えてから行う ヤケド・感電・ケガの原因になります。	

注意

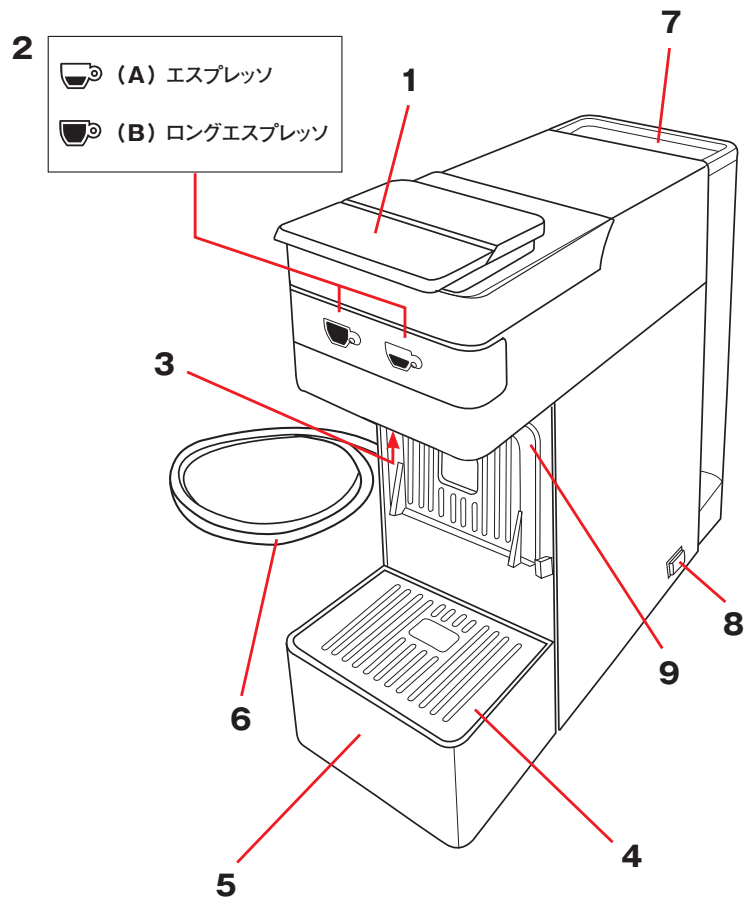
電源について	
❗ ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する 使用中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。	
電源プラグ／電源コードについて	
❗ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く 電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。	❌ 使用中は、電源コードを本体に触れさせない 熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。
✕ 	

注意

設置場所について	
❌ 本体は不安定なところや熱に弱い場所、屋外には置かない 本体や置いた物・場所が変形・変質したり火災の原因になります。	
使用中／使用后について	
❗ 本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する 感電・火災の原因になります。 🔌 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く ❌ 本体や操作部に水やジュース（液体）などをこぼさない 本体や操作部（コントロールパネル）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、使用を中止します。その後、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターまでご連絡ください。	❌ 使用中および使用后しばらくはコーヒー抽出口部分に触らない ヤケドの原因になります。 ❌ 他の用途で使用しない 本製品は、コーヒーの抽出、給湯／加熱専用です。故障の原因になります。 🔌 使用しないときは、電源を切り、必ずプラグをコンセントから抜く 故障の原因になります。 ❌ 給水タンクの最大水量（8分目）を超えて水を入れない 故障の原因になります。 ❌ 他製品の部品や付属品などを組み合わせ使用しない 故障や事故の原因になります。
お手入れについて	
❗ 使用後は、必ずお手入れする 故障の原因になります。 ❌ 絶対に、水に浸したり、水洗いをしない 故障の原因になります。 ❌ 本体と電源コード／プラグに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いをしない 感電やショート、故障の原因になります。 ❗ 洗剤は、必ず台所食器用洗剤を使用する 研磨剤入り洗剤やクレンザー、漂白剤、スプレー洗剤などは使用しないでください。本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因になります。	❌ ガラス磨き、シンナー、アルコール、ワイヤール、金ブラシ、たわし、研磨スポンジなどは使用しない 本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因になります。

■ 各部のなまえ

1. 開閉レバー（カプセルホルダー）
2. 抽出ボタン
（A. エスプレッソ B. ロングエスプレッソ）
3. 抽出ユニット
4. カップスタンド
5. ドリップトレイ、
カプセルコンテナ（使用済カプセル入れ）
6. 電源コード（プラグ有）
7. 水タンク（取り外し可能）
8. 主電源スイッチ ON/OFF
9. カップスタンド（サポート）



■ はじめてのご使用

本体を電源に繋ぐ前に、取扱い説明書の重要安全事項をよくお読みください。

〔給水〕

1. 水タンク **(7)** を押し下げながら外側に出します。①
2. 新鮮な水を1リットル水タンクに入れます。② (8分目まで入れます。)
3. 水バルブにはまるように少し水タンクを傾けながら水タンクをはめます。③

〔始動とウォーミングアップ〕

1. コンセントにプラグ **(6)** を差し込んでください。
2. 主電源スイッチ **(8)** を押し電源を入れます。④
3. 抽出ボタン **(A)** と **(B)** が光り始めます。約1分で点灯に変わるとマシンが適正な温度に達したことを示します。④

〔節電モード〕

マシンの主電源スイッチが入ったまま15分使用しないと節電モードが働き、ボタン **(A)** と **(B)** が2秒間おきに点滅します。

マシンを通常の状態に戻すには、2つのボタン **(A)** または **(B)** のどちらかを押し、ヒーターが完了するまでお待ちください。ボタン **(A)** と **(B)** が点灯するとマシンが準備完了です。

注記：

安全なご使用と節電モード

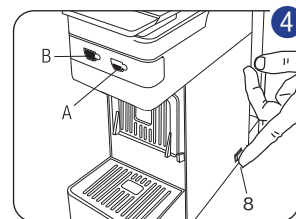
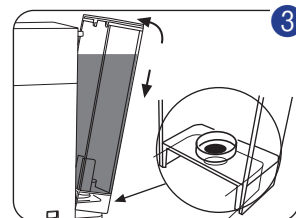
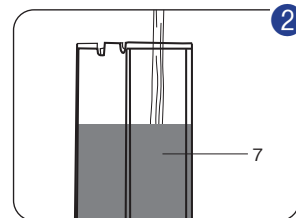
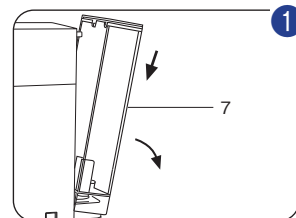
- 使用しない時は主電源スイッチ **(8)** をオフにしてください。
- 長期間マシンを使用しない場合は、水タンクを空にし、プラグを抜いて保管してください。

⚠ 警告：

水タンクには、新鮮な水のみを入れてください。

熱湯や他の液体を入れると水タンクにダメージを与える可能性があります。

ご使用前に必ず水が入っていることを確認してください。



■ コーヒーの抽出

●Y3は“Iperespresso”カプセル専用マシンです。

1. ☕ と ☕ ボタンが点灯していることを確認してください。
2. 抽出口の下にカップを置いてください。
3. ゆっくりと開閉レバー（1）を止まるまで後ろに上げ ⑤、カプセルホルダーにカプセルを入れます。⑥
4. 完全にレバーを閉め（1）⑦ 抽出ボタンを押してください。⑧
 - ☕ エスプレッソ（A）
 - ☕ ロングエスプレッソ（B）
5. コーヒーが設定量に達すると自動的に止まります。

⚠ 警告：

カプセル1つで抽出できるのは1杯分です。2杯の抽出には使用できません。

抽出後のカプセルはカプセルホルダーを開けた時に自動的にカプセルコンテナ（5）に入ります。

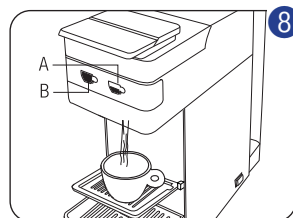
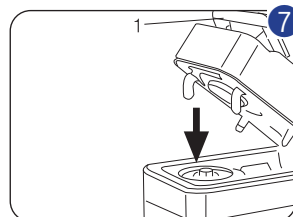
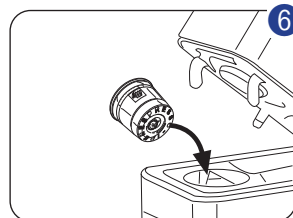
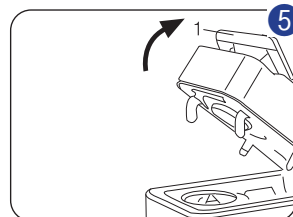
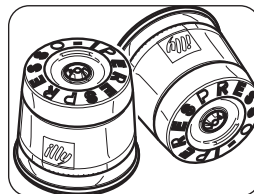
適時ドリフトトレイ（5）を清掃し、カプセルコンテナを空にしてください。

タンクの水の交換は頻繁に行うようにしてください。

マシンがダメージを受ける場合がありますので“Iperespresso”カプセル以外のカプセルはお使い頂けません。

《よりコーヒーをお楽しみいただくために》

エスプレッソには厚いカップを使用し、使用前にカップを温めておくことをお勧めします。



■ コーヒー抽出量の設定

☕ と ☕ ボタンそれぞれのコーヒーの量を設定することができます。

●ここではエスプレッソボタン (A) ☕ の設定の仕方のみ解説します。

ロングエスプレッソ (B) ☕ の設定を行うには、同じ手順に従い設定をし、適切なサイズのカップをお使いください。

●お好みの量の抽出を調整・設定するには次の手順に従って行ってください。

1. カプセルをカプセルホルダーに入れてください。
2. カップスタンドに、エスプレッソカップを置いてください。
3. エスプレッソボタン ☕ を長押しし続け、お好みの量になりましたらボタンを離してください。
これで設定ができました。

次回からはエスプレッソボタン ☕ を押すと、設定した量で抽出されます。

4. なお調整・設定をした後は、コーヒー抽出量を初期設定に戻すことはできません。

●手動停止

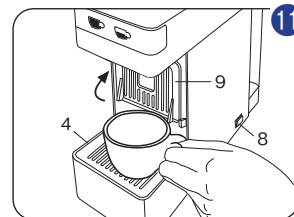
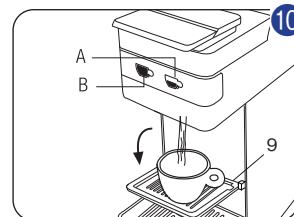
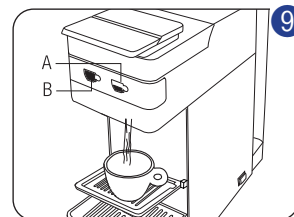
設定した量で抽出が完了する前に、再び同じボタンを押すと手動で抽出を止めることができます。

⚠ 警告：

コーヒーがカップから溢れてしまう可能性があるため、最大約70秒間で、自動的に抽出が止まるようになっています。

注記：

- エスプレッソ抽出のときはエスプレッソボタン (A) を使用し、⑩にあるカップスタンドサポート (9) を倒しカップを置いてください。大きいカップが必要なときはカップスタンドサポート (9) を⑪にあるように戻し、直接カップスタンド (4) に置いて抽出してください。



■ マシン内部の洗浄（空おとし）

初めて使用もしくは長期間使用していないとき、以下の手順に従い最低3カップ分のお湯を抽出することをお勧めいたします。

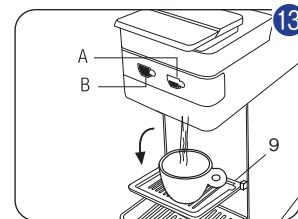
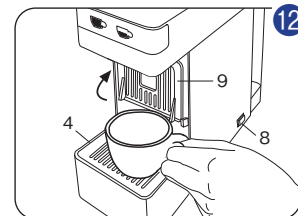
●カプセルが入っていないことを確認してください。

1. 主電源スイッチ **(8)** をオンにしてください。
2. 抽出口の下に大きめのカップを置いてください。 **12**
3. 抽出ボタン **(A)** **(B)** が点灯したら、マシンの準備が完了です。
4. ボタン **(A)** もしくは **(B)** を押してください；マシンからお湯が出てきたら、適量のところで再びボタンを押してお湯を止めてください。（なお、ボタンを押す前に設定量に達した場合、お湯が自動的に止まります。） **13**

●本体は少なくとも一回3カップ分のお湯で洗浄してください。

⚠ 警告：

●カプセルを使用していないため、多量のお湯が抽出されますので気をつけてください。



■ 使用済カプセルの捨て方およびカプセルコンテナ清掃

カプセルコンテナの容量は8個までですが、中でカプセルが詰まらないように定期的にカプセルコンテナ内にある使用済カプセルを捨てることをお勧め致します。

1. 捨てるにはカプセルコンテナ **(5)** を取り出してください。⑭
2. カプセルを捨てたらカプセルコンテナをすすいでください。水分やコーヒーのカスをドリフトレーとすのこから取り除いたら、ドリフトレーとカプセルコンテナを戻してください。⑮

注記：

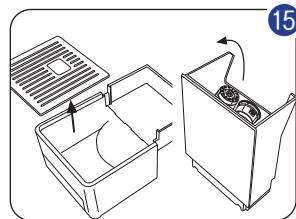
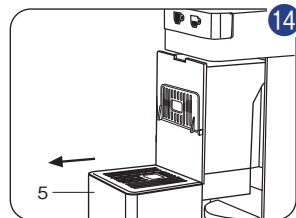
- 使用済カプセルとコーヒー抽出後の液体の残りがカプセルコンテナに入っています。
- ドリフトレー **(5)** とカプセルコンテナを食器洗浄機に入れないでください。
- ドリフトレーとカプセルコンテナを清潔に保ってください。

■ 保管

- 長期間マシンを使用しないときは、電源を切り、コンセントからプラグを抜いてください。
- 水気のない場所で保管をし、ほこりを避け、お子様の手が届かない場所で保管をしてください。
- マシンの外箱で保管をすることをお勧め致します。

注記：

- ダメージを防ぐためにも、保管場所の温度は5℃を下回ることがないようにしてください。
- 内部のパーツに残っている水分が凍ってしまう可能性があります。



■ スケール除去

コーヒーマシンは、マシン内部にスケール（水中のカルシウム残留物）が付着するため、2～3ヶ月に1度は取り除いてください。コーヒーの抽出速度が遅くなった場合にはスケール除去を行なってください。

●スケール除去は、次のように進めてください。

1. 主電源スイッチがOFFの位置にあることを確認してください。
2. カプセルホルダーにカプセルが入っていないことを確認してください。
3. 水タンクを取外し、残っている水は捨ててください。
4. 水タンクの8分目まで新鮮な水を入れてください。スケール除去剤をその中に入れ、溶けるまでお待ちください。（早く溶かすには、かきまぜてください。）
5. 水タンクを正しく本体にはめてください。
6. 容量が1ℓ以上ある容器を抽出ユニットの下に置いてください。
7. 抽出ボタン（**(B)** ロングエスプレッソ）を押してお湯を抽出します。この作業を水タンクが空になるまで続けてください。

●内部に残ったスケール除去溶液を排出するため、すすぎを行います。

1. 水タンクを取り外し、スケール除去溶液の残りを捨ててください。
流水でよくすすぎ、新しい水を入れてください。
2. 水タンクをもとの位置に戻し、しっかりはめてください。
3. 容器を空にして、抽出ユニット下に戻してください。
4. すすぎを行う為、抽出ボタン（**(B)** ロングエスプレッソ）を押してお湯を抽出します。水タンクが空になるまで続けてください。
5. これでスケール除去が全て終了しました。マシンを通常通りお使い頂けます。

⚠ 警告：

すすぎの際、排出されたスケール除去済みの液体を再び使用しないでください。

⚠：

スケール除去剤として、酢・アルカリ液・塩・ギ酸を使わないでください。本体にダメージを与える場合があります。

コーヒーマシンに適切なスケール除去剤をお使いください。

スケール除去を行っている最中に出される液体を絶対に飲まないでください。

■ 仕様

外装：ABS

熱交換資材：アルミニウム

水タンク：1.0ℓ

使用済みカプセル収容量：8 カプセル

ポンプ圧：19バール

本体重量：3.6 kg

電圧：100V、50 - 60Hz

電力：1100W（節電機能付）

サイズ：100×310×265mm

製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

■ 推奨

上質のコーヒーをお楽しみ頂く為、次の事をお勧めします。

- 毎日水タンクの水は取り換えてください。
- マシン内のスケールを軽減するため、ミネラル含有量の低い水（軟水）をお使いください。
- コーヒーカップはあらかじめ温めてからご使用ください。

■ 保証の対象について

以下に起因するダメージや不具合については保証対象外となります。

- 定期的なスケール除去の不足
- 不適切な使用や、取扱い説明書に従っていない使用
- 内部の改造

認定されていないサービスセンターでおこなった修理費用は、保証対象外です。

そのような費用は全てお客様の負担となります。

※詳しくは、同封されている保証書をご確認ください。

⚠ 警告：

修理が必要となった場合にサービスセンターへ発送のために、最初の梱包材を保有しておくことをお勧め致します。

（最低でも保証期間内）

十分に梱包せず、輸送途上で起こったダメージは保証対象外となります。

■ 故障かな？『トラブルシューティング』

それでも問題が解決されない場合……キーコーヒー(株)お客様センターまで連絡してください。

問 題	原 因	解決策
電源が入らない	1) 電源コードが接続されていない。	1) コンセントにプラグを差し込む。
	2) 主電源スイッチが“0”の位置である。	2) 主電源スイッチ (8) を“1”の位置にする。
コーヒーが抽出されない	1) タンクに水が入っていない。	1) タンク (7) に水をいれてください。
	2) タンクが正しく挿入されていない。	2) タンクを本体にカチッと音がするまで完全にはめてください。
	3) 本体の天面にある可動部がしっかりと閉まっていない。	3) 開閉レバー (1) を上げて、カプセルが入っているか確認をし、レバー (1) をロックの位置まで下げる。
	4) カプセルが入っていない。	4) カプセルをいれてください。
	5) カプセルが入っているが穴が完全に開けられていない。	5) 開閉レバー (1) を上げて、カプセルがきちんと入っているか確認をし、レバー (1) をロックの位置まで下げて再度抽出。それでもダメな場合は新しいカプセルでお試ください。もしも問題が解決しなければ、お求めの販売店もしくはキーコーヒー(株)お客様センターへ問い合わせをしてください。
	6) ポンプに水が通っていない。	6) 空おとし (P8) をします。湯量が通常通りなら問題ありません。湯量が少ない場合は、スケール除去 (P10) を行なってください。お湯が出ない場合はお求めの販売店にお問い合わせをしてください。

それでも問題が解決されない場合……キーコーヒー(株)お客様センターまで連絡してください。

問 題	原 因	解決策
カプセルが排出されない	1) カプセルが中に入ったままになっている。	1) 再度、レバー (1) を閉め、ゆっくりとレバーを開ける。
ポンプから大きな音がする	1) タンクに水が入っていない。	1) タンクに給水してください。
	2) タンクが正しく挿入されていない。	2) タンクを正しく挿入して新しいカプセルを入れてください。
	3) カプセルに完全に穴が開いていない。	3) 新しいカプセルを入れてください。もしも問題が解決しなければ、お求めの販売店もしくはキーコーヒー(株)お客様センターへ問い合わせをしてください。
コーヒーがぬるい	1) ヒーティングシステムの不具合。	1) お求めの販売店もしくはキーコーヒー(株)お客様センターへ問い合わせをしてください。
本体がウォーミングアップに入っているときに抽出口からポタポタ漏れる	1) 本体には一定の圧力を保つためにバルブが装備されている。	1) これは故障ではありません。
コーヒーの抽出速度が遅い	1) 内部部品にスケールが形成されている。	1) スケール除去の章 (P10) を参照にスケール除去を行ってください。
コーヒーの酸味が強い	1) 本体がスケール除去のあとに完全にすすがれていない。	1) スケール除去の章 (P10) を参照にもう一度すすぎを行ってください。
	2) 使用したカプセルが消費期限が切れている。	2) 新しいカプセルで抽出してください。

